



めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』

学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 山中 喜宏

<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/>

加小っ子だより

令和6年9月6日 No.16

全国学力・学習状況調査の結果と今後の取組

令和6年4月18日(木)に6年生を対象に実施した「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。

この調査は、児童の学力・学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。この調査で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分に考慮し、今後、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきます。

I 教科に関する調査結果

【平均正答率】

	国語	算数
本校 (全国との差)	全国より 低い	全国より 低い
全国	67.7%	63.4%

6年生が、粘り強く取り組みました。



【領域別正答率:国語】(%)

国語の領域	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
本校 (全国との差)	全国より やや低い	全国より 低い	全国より 低い
全国	59.8	68.4	70.7

【領域別正答率:算数】(%)

算数の領域	数と計算	図形	変化と 関係	データの 活用
本校 (全国との差)	全国より 低い	全国より 低い	全国より 低い	全国より 低い
全国	66.0	66.3	51.7	61.8

各教科の平均正答率は、国語、算数ともに全国平均を下回っています。

国語は、話し言葉と書き言葉の違いに気づくことや自分の考えが伝わるように表現を工夫することについての平均正答率が高かったです。一方、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることや文脈に即して漢字を正しく使う(書く)ことについて課題が見られました。また、子どもたちの解答の状況から、物語文の中の主語・述語の関係を捉えること、描写を基に登場人物の心情などを捉えたり、人物像を具体的に想像したりすることについても課題が見られました。さらに、集めた情報を分類したり、関係付けたりすることに課題が見られました。

算数は、円の直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について平均正答率が高かったです。一方、立方体の体積の求め方や小数のわり算の平均正答率が全国平均より低く、基本的な公式

や計算が定着していないことが課題と見られました。また、短答式や記述式の問題の平均正答率が低く、問題を読み取り、求められている条件に沿って回答することにも課題が見られました。

国語と算数どちらの教科にも共通した課題として、文章を「読むこと」、つまり読み取る力に課題が見られました。

2 国語・算数のできているところとできていないところ《○:できているところ ●:できていないところ》

【国語】

○書き言葉と話し言葉との違いに気づく問題の平均正答率が全国平均を上回った。

本校:85.7%(全国:75.9%)

○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題の平均正答率が全国平均を上回った。本校:59.5%(全国:52.9%)

○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することをみる問題の平均正答率が全国平均を上回った。

本校:64.3%(全国:56.6%)

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題に課題がある。本校:14.3%(全国:43.4%)

●目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる問題に課題がある。本校:69.0%(全国:80.3%)

平均正答率が低かった問題です。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんの仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アきょうぎの作戦を考えたりします。「みんなでつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールをイなげるようにしています。

アきょうぎの作戦を考えたりします。

三 高山さんは、「高山さんの文章」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた漢字に書き直すことにしました。次の部ア、イを漢字でいねいに書きましょう。



《今後の学校としての取組》

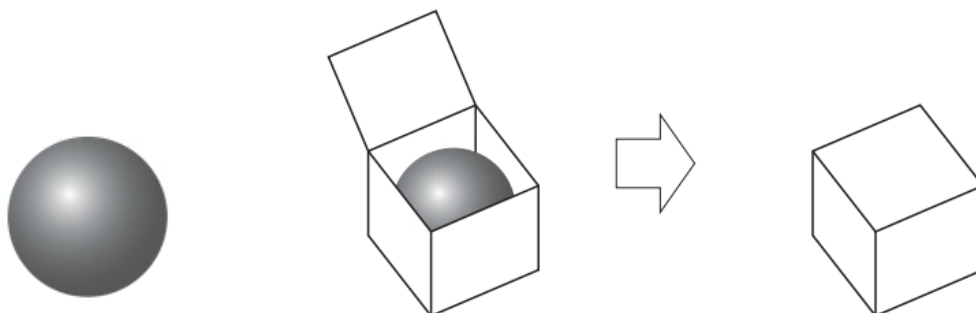
- ☐ 初見の文章を読み取る力をつけるための学習機会を設ける。
 - ・ 音読の宿題を国語以外の教科(道徳や社会など)でも出す。
 - ・ 各種ワークシート(読む書くワークシートや読む YOMU ワークシート)を活用し、読み取る力を育成していきます。
- ☐ 求められる条件(文字数を指定したりキーワードを用いたりするなど)にあわせて記述する学習の機会を設ける。
- ☐ 「この本よかったよ」の取組を行う。
 - ・ 文字や漢字、主語と述語の一致した文章などの指導を行う。
- ☐ 学年別漢字配当表に示されている漢字が読めて書けるように、漢字ドリルや書き取りの取組を繰り返し行う。

【算数】

- 直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解しているかどうかを見る問題の平均正答率が全国平均を上回った。 本校:78.6%(全国:71.3 %)
- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかを見る問題の平均正答率が全国平均を下回った。
本校:23.8 %(全国:36.5 %)
- 除数が少数である場合の除法の計算をすることができるかどうかを見る問題の平均正答率が全国平均を下回った。 本校:45.2%(全国:70.1%)
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかを見る問題の平均正答率が全国平均を下回った。
本校:54.8%(全国:73.3%)

平均正答率が全国より低かった問題です。

- (3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。
このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

《今後の学校としての取組》

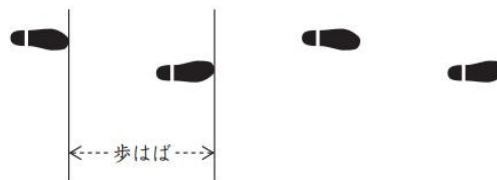
- 朝の学習時間の確保を確実にし、計算などの算数の問題に取り組む。
- 計算問題への取組を継続的にし、定着を図る。また、小数の仕組みとその四則計算の理解と技能の習熟に取り組む。
- 友だちの説明を聞く場面、友だちに説明をする場面にペアやグループを活用し、授業を進める。
- 算数においても長い問題文、データを見ながら長文を読んでいく集中力が必要。日ごろから、授業の中で長い文の問題に取り組んでいく。

平均正答率が低かった問題です。

あいなさんたちは、時間や速さなどについて考えています。

(1) あいなさんは、家から学校までの歩数を求めます。

家から学校までの道のりは、540 m です。あいなさんの歩はばを 0.6 m とします。



家から学校までの歩数は、 $540 \div 0.6$ の式で求めることができます。
 $540 \div 0.6$ を計算しましょう。

3 児童生徒質問紙より

児童生徒質問紙は、児童生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。以下に、本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（自己肯定感、社会への関心等）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
自分には、よいところがあると思う	80.9	82.4	84.1	-3.2
将来の夢や目標を持っている	69.1	81.6	82.4	-13.3
人が困っているときは進んで助けている	95.3	93.1	92.7	+2.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97.6	97.1	96.7	+0.9
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.8	96.1	95.9	-3.1
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	90.5	83.8	83.5	+7

※数値は、各質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)

【家庭生活（生活習慣、家の人との会話）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
朝食を毎日食べている	95.2	93.5	93.7	+1.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	83.3	82.1	82.9	+0.4
毎日、同じくらいの時刻に起きている	92.8	91.6	91.6	+1.2

※数値は、各質問に「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合(%)

【学習習慣（家庭学習や自主学習）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか（学習塾等を含む）【1時間以上との回答】	40.4	50.6	54.6	-14.2
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか【100冊以上と回答】	33.3	30.0	31.9	+1.4
新聞を読んでいますか【週に1～3回、ほぼ毎日読んでいると回答】	16.6	10.5	11.6	+5

【ゲームやメディアの使用に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国との比較
普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか【2時間以上と回答】	59.5	50.4	49.2	+10.3
普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）をしますか【2時間以上と回答】	35.6	34.9	33.8	+1.8
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか※1	66.7	68.7	71.1	-4.4

※1 数値は、「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した割合（％）

○ 「人が困っている時には進んで助けている」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の質問に90%以上の児童が肯定的な回答をしており、全国平均を上回っています。

⇒ 非認知能力のうち「社会性」が高いことがうかがえます。

○ ほとんどの児童が、毎朝、同じくらいの時刻に起床し、朝食を食べています。

⇒ 保護者の皆様のご協力により規則正しい生活が送れていることがうかがえます。
ありがとうございます。

● 調査結果からは、国・県と比較して自己肯定感が低いことがうかがえます。

● 家庭学習の時間が1時間以上と回答した児童の割合が全国や県に比べて低い。

⇒ 家庭学習の習慣が身についていないことがうかがえます。

● 平日にゲームやSNS、動画視聴を行う時間が2時間以上と回答した割合が全国、県より高い。

⇒ 平日にゲームやSNS、動画視聴に時間を取っていることがうかがえます。

⇒ 非認知能力の「自制心」が低いことがうかがえます。

● コンピュータの使い方について家の人と約束したことを守っている子どもの割合が全国や県に比べてやや低い。また、「持っているが約束はない」と回答している児童が複数みられた。

《今後の学校としての取組》

- 「友だちを大切に、自分を大切に」する取組を引き続き行っていきます。
- 図書委員会の取り組みを通じて、学校図書館の利用を促し、読書量が確保できるよう子どもたちに働きかけていきます。
- 中学校区で取り組んでいるノーメディアデー（本校ではアウトメディアデー）において、学習時間や読書時間を記録する取り組みを継続し、家庭学習や読書の習慣がつくよう働きかけます。
- インターネットの正しい理解と SNS の正しい使い方を身に付けるための授業を実施していきます。

4 家庭・地域のみなさまとともに、子どもの「学びと育ち」を支えましょう

家庭・地域のみなさまには、今後も本校の教育活動へのご理解・ご協力とともに、子どもたちの成長へのサポートをお願いします。

（１）自己肯定感や規範意識を高めさせましょう。

- ・ 子どものよいところ、がんばったことを認め、声をかけましょう。
声をかける時には、できたことをできるだけ具体的に伝えるようにしましょう。
- ・ ほかに子どもと比べるのではなく、前より成長したところ、できたことを見つけ、ほめましょう。行動に対しての具体的な結果ををほめるようにしましょう。
- ・ 子どもたちがあいさつや社会のルール・マナーを身に付けられるよう、私たち大人が言動の手本を示しましょう。
また、人として許されないような子どもの言動があれば、見逃さずに指導しましょう。

（２）規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう。

- ・ 十分な睡眠時間を確保するため、規則正しい生活習慣を身に付けさせましょう。

（３）家庭で学習する習慣を定着させましょう。

- ・ 学校から帰った後の時間の使い方を見直し、学習時間（宿題・自主勉強等）を毎日ほぼ同じ時間に設定し、習慣化しましょう。
- ・ 読書をする、新聞を読むなど活字に触れる機会を持ちましょう。
- ・ テレビ、スマートフォン、ゲーム機器等のネットにつながったメディア機器の使用や SNS や動画視聴、ゲームなどアプリやソフトウェアの使用に関する約束（ルール）を家族で話し合って決めましょう。

<参考サイト>

- 政府広報 ネットの危険から子どもを守るために保護者が知っておきたいこと <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201303/3.html>
- 朝日新聞デジタル 主要 SNS は小学生は利用不可！ 子どもの SNS 利用で伝えたい6つのこと <https://www.asahi.com/edua/article/14882086>
- 仙台市教育委員会 貴重な時間を大切に！ ついついやっていませんか？
○○○な過ごし方
https://www.city.sendai.jp/manabi/kurashi/manabu/kyoiku/inkai/kanren/kyoiku/documents/r03_gakusyuiyoku.pdf
- セコム 安心子育て応援サイト 子どもの安全ブログ
<https://www.secom.co.jp/kodomo/m/20230817.html>